

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

部活動特集① 中学校の時の部活動の思い出

6月27日から県東地区総合体育大会が始まります。そこで、今週と来週にわたり、部活動の思い出について掲載します。まずは、校長先生の中学校時代の部活動の思い出です。

私は、昭和51年に銚田南中学校に入学しました。昭和51年というとその3月に銚田一高が第48回選抜高等学校野球選手権に出場し、銚田町内は空前の野球フィーバー。私は、野球部に入部したのですが、入部した生徒は、何と50人以上。1年生が球拾いをする、人のフェンスができたようでした。入部者が多過ぎたせいで、先輩は、何とかして部員数を減らす作戦に出ました。それは今では考えられませんが、野球の練習をさせず、ひたすら筋トレをさせる、ケツバットをする、フェンスの前を一人一人走らせて先輩全員がボールをぶつけるなど悪行三昧でした。そのお陰で(?)最終的には部員は18人に絞られました。部員が絞られるだけでなく、3年生が引退するまでは、下級生は下働き。野球の練習ができるのは、2年生の8月からでした。

当時、「リトルの団ちゃん」という漫画が流行っていたということもあり、小学生の間で、リトルリーグという硬式野球組織が全国的に広がりを見せていて、銚田町内にも私が5年生の時にリトルリーグが発足しました。銚田のチームは、東関東大会で強豪チームを倒して注目を浴びたり近隣大会でいくつも優勝したりするなどの実績を誇っていました。茨城県内のチームには負けた記憶がないほどでした。そんな選手がそろっていたのにもかかわらず、中学校で新チームが発足して練習試合をすると思うように勝てません。今考えれば、1年半近くも野球らしい野球ができなかったのですから、仕方がなかったと思います。新人戦では県東地区で優勝した大洋中に延長18回で敗戦。総体でも県選抜で優勝した鹿島中に1点差で惜敗。結局、中学校時代は大した成績を残せませんでした。

そんな中学校の野球部でも楽しいことがありました。銚田南中は、結城市で開催されていた北関東大会という大会に出場していました。茨城県と栃木県の60近い学校が参加していたのですが、この大会で銚田南中は準々決勝まで進出しました。この大会は、結城市で行われていたので、勝ち上がると宿に泊まることになります。準々決勝に勝ち上がったので、たぶん3泊したと記憶しています。試合以外は、練習会場もなかったので、宿でトランプや将棋をやったり銭湯に行ったり、ラーメンを食べに行ったりと自由に過ごすことができ、ちょっとした旅行気分を味わえました。

それから10数年後、私は野球部顧問をするようになりました。自分の中学校時代を反面教師とし、1年生でもしっかりと練習させるようにしました。ラグビーの大学選手権で9連覇に導いた帝京大学の元監督も述べていますが、1年生がストレスを感じるようではいけないと思います。帝京大学では、下働きは4年生が率先して行っているようです。

さて、間もなく県東地区総体が始まります。いつも皆さんにお願いしているように本番は「楽しむ」ということに徹してほしいと思います。それは勝ち負けにこだわらずにです。これまでやってきたことが、少しでも発揮できれば御の字です。皆さんの生き生きとして楽しむ姿を楽しみにしています。

